

## 今後の検討課題及びスケジュール（案）

## ① 浚渫技術に関する現地踏査とケーススタディー

## ○効率的な浚渫方法の検討

1. 採取方法・排出方法
2. 採取位置・排出位置
3. サンドリサイクル実施時期・期間
4. 所用コスト試算（初期・維持）、所用エネルギー換算

※再生可能エネルギー技術を含む

## ○従来の浚渫方法との比較検討

1. 採取方法・排出方法
2. 採取位置・排出位置
3. サンドリサイクル実施時期・期間
4. 所用コスト試算（初期・維持）、所用エネルギー換算

## ② 再生可能エネルギー技術に関する現地踏査とケーススタディー

## ○洋上風力発電施設導入に関する検討（着床式・浮体式）

1. 技術事項に係る設置可能性
2. 運営収支に係る設置可能性
3. サンドリサイクルシステム稼働に係る所用電力量
4. 気象観測データに基づく風況の特性把握
5. 余剰電力の活用策
6. CO<sub>2</sub>削減量の試算

## ○太陽光発電施設導入に関する検討

1. 技術事項に係る設置可能性
2. 運営収支に係る設置可能性
3. サンドリサイクルシステム稼働に係る所用電力量
4. 気象観測データに基づく光況の特性把握
5. 余剰電力の活用策
6. CO<sub>2</sub>削減量の試算

## ③ 簡易な移動機構による浚渫工法を活用した試験施行の必要性

## ○県内海岸の地域特性に適合した浚渫工法の検討

1. 濁水、騒音、低周波振動等による居住環境や生態系（生息・産卵）等への影響
2. 景観への影響
3. 適当な規模・位置・時期等
4. 上記 1. 2. 3. を検討した上での試験施行の必要性の判断（実施と評価）

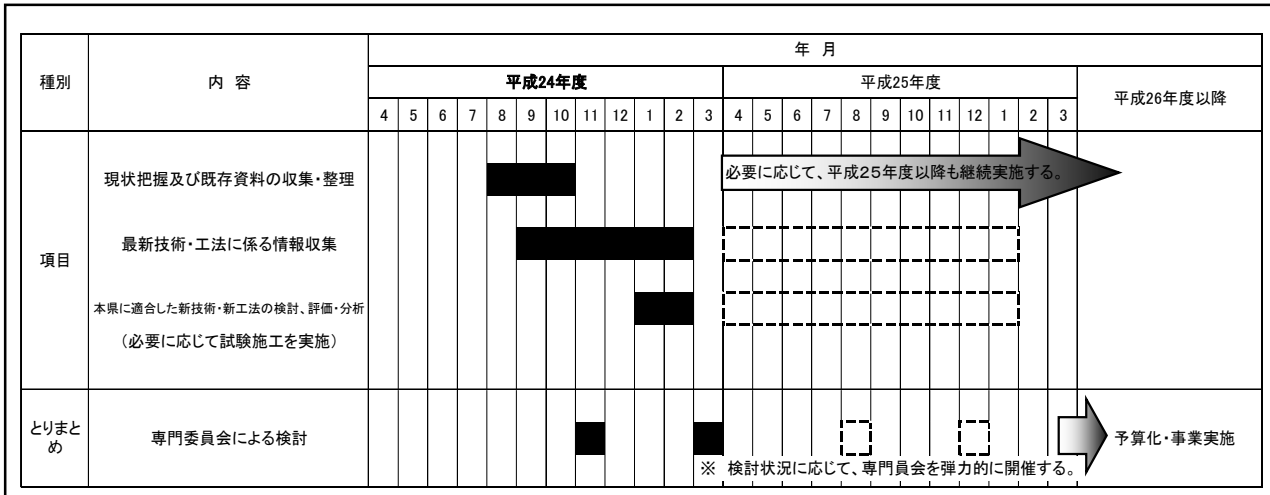
#### ④ 鳥取方式のサンドリサイクルシステムの開発・導入の効果予測評価方法

- 事前評価項目の設定・評価時期
  - 1. 現況分析結果に基づく項目の選定
  - 2. 現況値の設定
- 事後評価項目の設定・評価時期
  - 1. 新たな評価項目の選定の有無
  - 2. 予測値・実測値（対現況値）

#### ⑤ その他実現に向けて対処すべき課題

- その他
  - 1. 砂の採取（場所・手法）から排出（場所・手法）までの一連過程を対象に検証
  - 2. 潮力発電施設導入に関しても幅広く情報収集・可能性検討

#### ⑥ 今後の技術検討委員会の開催スケジュール



※注1) 技術検討委員会とは、「(仮称)鳥取沿岸の砂浜海岸復元・港内堆砂抑制に向けた技術検討委員会」を示す。  
 ※注2) 技術検討委員会の開催に当たっては、可能な限り「(仮称)岩美海岸(陸上地区)侵食対策検討委員会」と同日に開催する。  
 ※注3) 平成25年度以降については、財政当局の了解を得たものではない。